

コロナ禍の学校は

小中学校に新入生を迎えて考えること 子どもたちの学び・育ちを保障するために

《コロナ禍での子どもたち》

こどものうつ症状



臨時休業中の児童生徒の様子アンケート(区教育委員会昨年7月実施)

感情等、心の状態

- ・ 6割程度の子どもは、感情や心の状態に変化はないと回答
- ・ 4割程度は、学校にいけないことでイライラや不安な気持ちになったり感情の変化が見られた

しかし昨年の一律休校措置
が、春の日差しを浴び、大きな希望に輝いている風景は、いつ見ても良いものです。



また、就学援助率など
子どもが感情の変化があったようにです。

子どもの貧困と小学教員の労働時間に影響

就学援助率は、子どもの貧困指標の一つでもあります。東大勝野教授、都留文大鶴田教授らの共同研究グループは、「就学援助率*が0%の学校に勤務する小学校教員と、最新の就学援助率全国平均値(14.72%)の学校に勤務する小学校教員の労働時間の間に週3時間40分の労働時間格差」があることを明らかにしました。教員が授業準備や保護者対応だけでなく「家庭内の人間関係」「経済的問題の相談」など子どもの貧困に対応する時間が生じているとしています。その上で勝野教授は、少人数学級編制の重要性とともに、スクールソーシャルワーカーなど学校と社会をつなぐ専門職の充足が求められていると指摘しています。



とを考えたが、外をふつと眺めると、歩道の植え込



を考えたが、外をふつと眺めると、歩道の植え込
サクラのこ
とを考えたが、外をふつと眺めると、歩道の植え込

みは、決して不要不急の外出ではないと思うのですが。 横山幸次

慌ただしくサクラの季節がすぎるとサツキの花が...
少し立ち止まって周りの景色をゆっくり眺める時間も大事

まわりの話題あれこれ

荒川区の就学援助認定率

	就学援助認定率	
	小学校	中学校
2019年度	18.0%	28.3%
2020年度	17.8%	27.5%

各年度5月1日現在の比較

日本共産党荒川区議会議員団

横山幸次

区政報告
ニュース

797
2021年4月11日
発行 日本共産党区議団
3802-4627
fax 3806-9246
arajcp@tcn-catv.ne.jp

横山区議事務所
荒川区町屋5-3-5
3895-0504
Eメール: アドレス
kouji.office@gmail.com

荒川区政の各種情報・
話題など...横山幸次区議
のホームページをご覧ください。

お困りごとなど電話、
ファックス、メールなど
でお気軽にご相談下さい。
裏面 コロナ禍での区内
産業振興は...など

定例法律相談会

5月10日(月)
横山事務所
18時~20時
連休のため第2月曜となります

生活相談は、随時受け付け
TEL&FAX 3895-0504
不在時は、留守電へ 後で連絡します。
区役所控室 3802-4627

荒川区の産業

いまこそ産業振興基本条例を生かした 中小事業者への事業継続支援の実施を

第5回 荒川区 新製品・ 新技術大賞



最優秀賞(左)
 (有)ソリューションゲート(東日暮里2丁目)対話形式で子どもに算数を教えるロボット「ユニボ先生」



優秀賞(左)
 精電舎電子工業(株)(西日暮里2丁目)ナノ秒CO2レーザー発振器「UPL-01」
 パルス幅をナノ秒まで短くしたことにより、レーザー照射部の熱影響域を最小限に抑えた非熱的な加工を実現



優秀賞(上)
 合同会社アイル・MTT(町屋2丁目)メッキ排水処理剤「PAX」陽イオン陰イオンの2種類を同時処理可能

第5回となった区の「新製品・新技術大賞」が発表されています。大企業ではできない中小企業ならではの製品が、キラッと光るものづくり荒川の存在感を示しています。

「キラッと光る荒川区のものづくり」に注目！
新製品・新技術大賞受賞製品をご覧ください

新たな区の対策は、コロナ感染症防止対策として行うテレワーク、飲食店のテイクアウトなどへの設備投資・マーケティング事業への補助(下囲み参照)ですが、区内中小事業者の一部にしか過ぎません。

区の産業振興基本条例では「荒川区における産業振興に関する基本的な事項を定めることにより、区内産業の発展、地域経済の活性化及び雇用の創出を促進し、もって区民生活の向上と活力ある地域社会の実現を図ることを目的とする」としています。

**荒川区新型コロナウイルス感染症拡大防止対策
設備投資等支援事業補助金**
 申請期間 6月30日まで
 区内で1年以上事業継続
 対象事業 感染拡大防止、消費需要増加を見込む分野...への設備設置 テイクアウトなどのマーケティング事業
問合せ 荒川区産業経済部
 商業振興係、経営支援係まで

宮前公園の一部が開園しました…

4月3日から宮前公園の一部が開園しました。30mのロングすべり台が設置され、多くの親子連れで連日にぎわっています。また、ガーデンエリアと広場エリアは、開放感にあふれていますし、親水エリアも隅田川との接点となる空間です。

今後この公園は、すでに完成している保育園、尾久図書館以外の東電高圧電線の下に沿ってテニスコート3面、バラを中心とした植栽のガーデンエリアなどが作られます。

尾久の原公園から川沿いに少し離れていますが、違ったコンセプトの公園として使い分けた利用もできそうです。



左は開園した親水・ガーデン・広場エリア、上は造成中のスポーツ、広場エリア(図書館と保育園は完成)



今週のデータ 再稼働ありきの現政権だが 民意は原子力発電反対

菅義偉政権は、あくまで原発再稼働を進めようとしています。「カーボンニュートラル(炭素実質排出量ゼロ)」も原発を残す意思が働いているようです。しかし、福島第一原発事故から10年経ってもいまだに多くの方が故郷に戻る事ができず、汚染水の処理もできない、廃炉もできない状況です。原発と共存はできません。朝日の今年2月19日付では、原子力発電反対57%に増加。民意は明白です。

原子力発電の賛否



※(株) 2021年2月16日